

# 2年での機種変更が合理的

スマートフォンの機能アップは日進月歩である。2012年後半に登場したモデルでは、無線LANルーターとしても使えるテザリング機能が全機種に付いた。CPUや通信の高速化も進み、画面操作も一層快適になった。これらの新体験を手に入れたという買い替えの動機は、パソコンより強いといえそうだ。

スマートフォンは端末代が5万～8万円で、利用契約期間は端末の割賦販売を前提とした2年が主流になっている。このため、2年がたつのを待って、即座に機種変更するユーザーが多い。「従来の携帯電話端末では約3.5年だった平均使用年数が、スマートフォンに限ると契約期間と同じ約2年に縮まってきている」(ジ

ーエフケー マーケティングサービス ジャパンの堤健一郎氏) という。

## 中古品売却の裏技も

スマートフォンを2年で買い替えるのは、ランニングコストを考えても合理的だ(図1)。例えば、ソフトバンクモバイルと「iPhone 4」の利用契約を交わしたユーザーが2年後に機種変更するケースを考えてみよう。iPhone 4の端末代金は約4万6000円。これを2年間かけて分割払いにすると、1年間で約2万3000円を支払うことになる。利用料金は、2年間適用される「月々割」を考慮すると、毎月約3800円。年間では約4万5400円だ。端末代と利用料金を足し合わせると、iPhone 4の使用コ

ストは年額で約6万8500円かかったことになる。

これに対して、「iPhone 4S」を使っていたユーザーが1年間で機種変更する場合はどうか。毎月の利用料金の負担は変わらないが、端末代金約4万6000円は1年間で支払うことになるので、使用コストは年額約9万1500円まで跳ね上がる。

では、「iPhone 3G」を4年間使い続けた場合には、年間コストが安くなるだろうか。1年当たりの端末コストは1万7300円に減るが、月々割の適用は2年間で終わる。こうした条件を勘案すると、4年の平均年間コストは約7万4200円となる。iPhone 3Gだけ端末価格が約7万円と高いこともあって、iPhone 4から

### ●スマートフォンの買い替えは2年後が最適



図1 スマートフォンを契約すると、約5万～8万円の本体を分割払いで購入することになる。機種変更の頻度が高いほど、最新機能を快適に使えるが、その購入金額はかさむことになる。ただし、端末代を分割払いで支払う2年間は通信料金の割引がある点を考慮すると、買い替え期間を2年から4年に延ばしても費用負担の総額は抑えにくい。図では、iPhoneのメモリー容量が最も小さい機種を選ぶ場合で年間コストを比べた

2年で変更する場合より少し高くつく。これなら2年ごとに買い替える方が良さそうだ。

もっとも、使っているスマートフォンが人気機種であれば、購入から2年たっていないなくても機種変更コストを抑えることが可能。中古市場を活用するのだ(図2)。例えば、中古品売買を全国規模で手掛ける大黒屋は、iPhone 4S (16GB) を最大2万円で買い取る。ここで回収した金額を充てれば負担は軽くなる。

なお、以上のような使用コストに関する事情は、端末がAndroid搭載機の場合でも、大まかには同じだ。

### 修理代の出費に備える

原則として2年間は使い続けると考えた場合、故障修理の出費に備えることも大切だ。例えば、NTTドコモの「ドコモプレミアクラブ」は無料で加入でき、自然故障なら3年間無料で修理する(図3)。

一方iPhoneの場合、自然故障に対応する保証は1年間。2年目は有償のサポートしかなく、アップルは総額8800円の費用で保証期間を延長し、水没などの修理費用負担を軽くする「AppleCare+」への加入を勧めている。保証対象外の修理を受ける場合、iPhone 4Sは最大1万7800円、iPhone 4以前は最大1万3800円の費用が1回につきかかる。

純正品と同等の部品を使って修理する業者もある。例えば、全国展開する「あいさぼ」なら、どんな修理でも、1回当たりおおむね8000円以下の料金で対応する(図4)。「液晶ガラスの破損や水没、各種ボタン修理などに関する依頼が多い」(白狼FC

### ●中古市場を活用して総費用を抑える

	最大引き取り価格	中古販売価格
iPhone 4S (16GB)	2万円	約3万2000円
iPhone 4 (16GB)	6000円	約1万4000円
iPhone 3GS (16GB)	4500円	約1万1000円
GALAXY S3	2万円	約3万2000円
GALAXY S2 LTE	1万2000円	約2万円
GALAXY S2	1万円	約1万9000円
GALAXY S	4500円	約1万1000円

図2 大黒屋秋葉原店における主な中古スマートフォンの売買価格。人気製品なら古くても値が落ちにくい



### ●お得な故障修理サービスを使う

サービス名(提供)	iPhone		Android搭載機	
	AppleCare+ (アップル/ソフトバンクモバイル、KDDI)	あんしん保証パック (ソフトバンクモバイル)	ドコモプレミアクラブ (NTTドコモ)	ケータイ補償お届けサービス (NTTドコモ)
料金	8800円(一括/分割)	月額498円	無料	月額294/399円
内容	本体の保証期間を1年間から2年間へ延長。水没などの事故に対する修理を2回まで受けられる	電池交換や修理にかかる費用の85%を割引。全損、盗難、紛失の場合に会員価格で新品を購入できる	本体の自然故障を3年間無料で修理。破損の場合は最大5250円で修理する	本体の水没、全損、紛失など、あらゆる場合に5250円で新品と交換(2回目は8400円)

図3 iPhoneとAndroid搭載機について、端末の故障修理が安く済む主なサービスをまとめた。KDDIもAndroid搭載機向けに月額399円の3年保証サービスを提供している

	アップルストア	修理専門店(あいさぼ)
液晶の破損	機種により1万3800~2万801円	6600~7700円 (iPhone 5は2万2800円)
バッテリー交換	6800円	4980~6980円
ホームボタン、スリープボタン、ドックコネクタ、スピーカーの交換修理	機種により1万3800~2万801円	4980~6980円

図4 iPhoneの保証対象外の修理をアップルストアで依頼すると1万~2万円前後の費用で、最新OSを搭載した新品との交換などに対応してくれる。また、バッテリー交換やボタン、端子の修理であれば、専門店が安価なサービスを提供している。ただし、アップルの保証が受けられなくなる場合がある

### ●充電の仕方がバッテリーの寿命を決める

寿命を縮める使い方

充電中に使用する

満充電の状態でも充電ケーブルを挿しっぱなし

長持ちする使い方

残量10~20%まで使ってから充電

液晶は1分で自動消灯

最新OSに更新

電池の減りが少ない使い方をする

図5 スマートフォンのバッテリーは1~2年で持ちが悪くなることが多い。劣化を最小限に抑えるには、充電のタイミングに気を遣うことが大切だ

運営本部長の望月弘晃氏) という。こうしたトラブルがなくても、ハード面での寿命が来るのだろうか。NTTドコモによると、「当初は朝充電すれば1日持っていたバッテリーが、1年半から2年使用すると、夕

方切れるようになるケースが多い」(端末サービス部の阿部成司フロントサービス担当部長) という。バッテリーの寿命を延ばすには、充電中の使用を控えるなど、幾つかのノウハウがある(図5)。